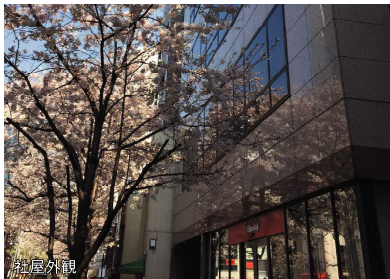


社会貢献を追求し、エコステージ活動はSDGs、健康経営へと深化

日美商事株式会社

<http://www.nichibi-shoji.co.jp/>



- 事業内容: 商社
- 代表者: 取締役社長 藤野 亮 氏
- 本社所在地: 東京都中央区日本橋茅場町2-3-6 宗和ビル6F
- 創立年: 1938年
- 従業員数: 23名
- 認証・評価: エコステージ2 (2019年7月取得)
SDGs未来経営評価レベル1 (2020年9月10日取得)

主な環境活動項目
(1) 地球温暖化対策
(2) 省資源
(3) 廃棄物の削減・リユース・リニューアル(3R)
(4) 環境負荷低減
(5) エコ商品・サービスの拡販

背景・課題

選ばれる日美商事を目指して

日美商事様は、創業以来83年に及ぶ電線材料や化学部材の専門商社です。大手電線メーカーの代理店としてのお取引や大手企業への納入にあたり調達ガイドラインの順守や法令の遵守といった社会的責任を果たすべく、その体制づくりや仕組みの整備のツールとしてエコステージ活動に着手されました。モノを作る製造業とはことなりムリ・ムダ・ムラの削減のポイントを捉えるのが商社という形態では難しい面がありますが、環境負荷の削減からはじまった活動はエコ商材の拡販、システム導入による業務効率改善、そしてSDGsへと深化しています。



■電線ケーブル

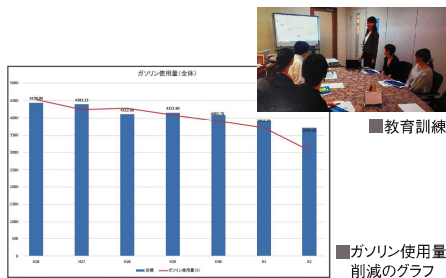
■光コネクタ

■光ファイバケーブル

活動内容

削減活動とSDGs

当社も環境負荷削減を目指し紙・電気・ガソリンの使用量やゴミの排出量の削減を続けてきました。事業と一体的な活動にすべく、化学物質管理のお客様要求はもちろんのこと、環境貢献商材の拡販、リサイクルビジネスの促進、システム化による効率改善に取り組んできました。システム化による効率改善はコロナ禍での在宅ワーク移行にも貢献し、社会のニーズの先に自分たちのビジネスも成立するという認識を新たにしました。社会課題の解決と日美商事のビジネスを結び付けるべく、SDGsも意識した活動にシフトしつつあります。



効果

取引先評価の安定した実績、採用活動にも効果あり

販売先と仕入先の間で自らの価値を提供することが商社の本質といえます。社会も当社も存続していくためには何が必要なのか。脱炭素や自由で平等で公平な社会創造への貢献は当社の持続的な売上につながります。一方、社員が健康で働き甲斐を感じながら日々の自分自身の成長を実感できることも非常に重要な要素と考えます。ずっといつまでも健康的に仕事を続けることができるよう、健康経営の実践もエコステージ活動のテーマと位置付けています。当然のことながら、当初の活動の出発点であった紙・電気・ガソリンも改善が進み、現在はモニタリングを行ってその成果を維持しています。



今後の計画

日美商事は電線・化成部品原料の専門商社として、良質なサービスを提供し社会への貢献と、社員の幸福・満足を追及し会社の発展につなげて行くことを経営理念に掲げています。エコステージ活動を通してこれからの日美商事のあるべき姿を描き、中期経営計画を明確化し、2030年までにSDGsの計画の実現を目指します。

担当評価員からのメッセージ

藤野社長様がエコステージ活動にお取り組みになられて10年余りが経過しました。藤野社長の「人を大切にする」という方針は一貫しており、SDGs活動による社会課題解決・経営課題解決の取り組みは、無形の資産の強化、競合差別化や優位性の確保につながります。岡常務様の推進力と社員様による更なる成果に今後も期待します。